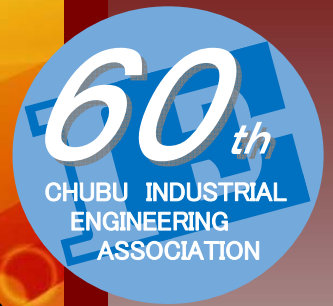


◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆



2019 年度

葦クラブ研究部会

挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり

～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

2019
4/24

2020
1/9

- 1 生産物流研究部会
- 2 生産システム研究部会
- 3 モノづくり人材育成研究部会
- 4 モノづくり競争力研究部会
- 5 生産現場改善研究部会
- 6 葦クラブ研究部会

登録メンバー特典

2019年 12月19日 (月)

5S・見える化講座

2019年度 葦クラブ研究部会

昨今の製造業を取り巻く環境は、IoT、AI、自動運転や電動化などの技術が急速に進み、100年に一度といわれる大変革期を迎え、産業の秩序や構造が劇的に変化しようとしております。このような状況下で我々は、自ら考え、行動をする責任感とチャレンジ精神を持った人財を育てるとともに、日本のモノづくりを支えてきた強い現場力にさらに磨きをかけ、スピード感を持って挑戦を続けることで、未来のモノづくりを創造していかなければなりません。本部会では、第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺うことを通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかります。是非、ご参加・ご登録をお願い申し上げます。

年間テーマ

挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり

～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第1例会

と き 2019年 4月 24日 (水) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

「すべての人に移動の自由を」

～Mobility Teammate Concept に基づく自動運転技術開発～

トヨタ自動車(株)

先進技術開発カンパニー

先進安全領域 領域長

鯉 淵

健 氏

100年に一度の大変革期を迎えたといわれる自動車業界において、コネクティッド、自動運転、シェアリング、電動化といういわゆるCASEへの動きが加速されている。今回は、すべての人が安全、スムーズ、自由に移動できる社会の実現を目指すトヨタ自動車の自動運転技術開発への考え方及び取組み、その実用化に向けた社会的課題も含め、本技術が新たなモビリティ社会にもたらすインパクトについてうかがう。

第2例会

と き 2019年 6月 10日 (月) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

「開発・技術・人材全てに圧倒的なパワーを注ぎ世界のトップ企業へ」

～キャリア品質・日本品質を目指したモノ作りへのこだわり～

華為技術日本(株)

法人ビジネス事業本部第二営業本部担当部長

宋

志 堅 氏

Huawei Technologies Japan K.K. 法人ビジネス事業本部第三営業本部シニアアカウントマネージャー

鈴木

健太郎 氏

HUAWEIは1987年に中国・深圳に設立された。①通信事業(無線アクセス等)②コンシューマ向け事業(スマホ等)③法人向け事業(IT技術の提供)の3事業を展開、急成長を遂げている。従業員約18万人のうち、R&D人材は8万人にもものぼり、売上げの約14%(約1兆3,000億円)をR&Dに投資している。経営スピード、人材活用、投資の考え方に至るまで、日本企業とは一線を画しており、変化しないことが許されない会社風土が経営に落とし込まれている。また、1回の品質問題が全てを失うとの認識のもと、品質確保にも徹底的にこだわっている。世界的大企業へ躍進したHUAWEIのスピード経営の取組みについてうかがう。

第3例会

と き 2019年 8月 2日 (金) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

交流会 17:15～18:30

西成先生もご同席。是非ご参加下さい。

「渋滞は社会を映し出す"鏡"」

～渋滞学からゆとりの大切さを考える～

東京大学

先端科学技術研究センター 教授

西 成

活 裕 氏

車の渋滞は何故発生するのか。独自に研究し新しい学問「渋滞学」を提唱する西成氏。一言で「渋滞」と言っても、歩く人の流れや、インターネット回線、商品の売れ残り、まとまらない会議など、流れの停滞という意味で、世の中には渋滞が溢れている。こうした様々な渋滞を「流れと停滞」という視点で見ると、全てのことが新しく見直せる。また、停滞の本質にゆとりの無さがあることが浮き彫りになる。ゆとりは無駄ではなく、長期的視野で見れば必要なものである。渋滞学から広がる全体的視野の大切さ、これからの社会のあり方についてうかがう。

■ 葦クラブ研究部会名称の由来

当部会の名称は当協会会長であった故大野耐一氏による命名である。1980年（昭和55年）から開設された当部会は経営幹部、工場長、管理監督者が集い、モノづくりに関することはもちろん責任者としての幅広い知識を収集するとともに会員企業とのネットワークを広げる場である。モノづくりを推進するうえで“現場のニーズは足で掴め、人間は考える葦である”という大野氏の言葉から「葦クラブ研究部会」と名付けた。

■ 当部会の企画・運営における中心的役割をお願いしております。（順不同）

幹事	住友電装(株)	ハーネス生産本部GPPC基盤強化推進部生技管理グループ主幹兼生産技術本部主幹	高崎真年氏
	(株)デンソー	生産革新企画部生産戦略室国内企画課担当次長	近藤市治氏
	ブラザー工業(株)	品質・製造センターIJ製造部グループ・マネジャー	伊藤進氏
	三菱電機(株)名古屋製作所	生産システム推進部生産企画課長	大草裕之氏
オブザーバー	広島大学	名誉教授	竹内常善氏

第4例会

と き 2019年 9月 27日 (金) 15:00~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

「旅館業における生産性向上」

～ I E手法を取り入れた現場改善・標準化・整流化～

(株)グランディア芳泉

代表取締役専務 山口 賢司氏

福井県あわら温泉のグランディア芳泉は、サービス業であるがゆえの悩みである作業効率の追求とお客様へ質の高いサービスの提供といった、一見相反する問題に対し、I E手法を取り入れ、ムダを徹底的に排除することで現場作業を改善。またI T化や標準化を迫り、生産性の向上と働き方改革を見事に実践した。結果接客時間が増える一方で旅館業において週休2日を達成している。今回はその具体的な取組みについてうかがう。

第5例会

と き 2019年 11月 13日 (水) 15:00~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

「世界の水問題解決に挑む」

～未来の分散型水インフラを目指して～

W O T A(株)

代表取締役 北川 力氏

人が生活する上で欠かせない資源、それが「水」である。深刻な水不足に悩む国々、老朽化した上下水道の維持に腐心する自治体、それらの問題を解決すべく2014年東京大学大学院在学中の北川氏は同級生らと共に立ち上がった。浄水フィルターと独自開発の水処理センサーなどを組み合わせ、I Tを駆使し、どこでも誰でも持ち運べる未来の水再生装置を開発。センサーやA Iを用いた工場等の水処理プラントの最適化支援にも取り組むほか、熊本地震や北海道胆振東部地震での入浴支援にも活躍し、自治体との連携も始まるW O T A社が描く、全ての人が水の問題から解放される未来の姿についてうかがう。

第6例会

と き 2020年 1月 9日 (木) 15:00~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

「2050年、宇宙エレベーター実現へ！ 課題とその克服」

～地球人が宇宙人になる時代～

J S E A 一般社団法人 宇宙エレベーター協会 理事 久保田 裕氏

宇宙旅行や物資輸送などに貢献する「宇宙エレベーター」。その実現に向け様々な実験が始まっている。1991年に新素材カーボンナノチューブが日本で発見され、地上と宇宙静止ステーションをケーブルでつなぐ宇宙エレベーターの実現がいよいよ現実味を帯びてきた。ロケットの様な墜落、爆破また大気汚染の心配もない夢のエレベーター実現に向けて、その開発の進み具合、さらに克服すべき課題とその具体的な方法についてうかがう。

開催要領

参加対象

経営幹部、工場長、管理監督者 等

運営方法

- ① 各例会とも原則、ご登録をいただきました方々を対象に開催いたします。(代理出席可能)
- ② 各例会の詳細案内は**開催の約1カ月前に登録メンバー**にメールにて連絡いたします。(例会毎に出欠確認をとりますので必ずご返信ください。)
- ③ 各例会とも指定いたしました集合場所・時間にご集合ください。
- ④ 都合により**若干の日程変更になる場合があります**のでご了承願います。
- ⑤ 各例会とも録音・写真撮影はご遠慮願います。
- ⑥ 年間の運営ガイダンスは第1例会実施の際に行います。

基本スケジュール

15:00～16:45	講演
16:45～17:00	意見交流

会場: 中部生産性本部 セミナールーム

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

年間登録費

中部IE協会会員 90,720円
一般..... 128,520円

1口につき2名登録、
資料代・消費税8%を含む

- ① 年間登録費は、お申込み後送付いたします請求書をご利用の上、**4月23日(火)**までに指定銀行へお振込み願います。なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますのでよろしくお願いたします。
- ② 年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義: 中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通	No. 1602917	名古屋銀行上前津支店	当座	No. 3116141
愛知銀行本店営業部	当座	No. 2678	りそな銀行名古屋支店	当座	No. 494070
中京銀行本店営業部	当座	No. 112438			

- ③ **4月17日(水)以降の参加取消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねますのでご了承願います。(ご登録者の変更をお願い申し上げます。)

申込締切日

2019年 4月17日(水)

参加申込みは、登録申込書をご記入の上、FAXまたは郵便にてご送付願います。

(遅れる場合は予めご連絡下さい。)

メンバー特典

当研究会へご登録いただきますと、下記の講座へ1名につき **会員価格の半額** でご参加いただけます。詳細は個別案内状を改めてご送付申し上げますので、是非ご参加ください。

2019年 12月 9日(月) 5S・見える化講座 28,600円 → 14,300円 (消費税10%含む)

※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
2. お申込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。【個人情報に関する問合せ窓口 担当: 齋藤 岩本 TEL 052-221-1261】

お申込み・問合せ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)

TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265

<https://www.cpc.or.jp> 担当: 杉田・広瀬・堀部

2019. 2. 21

2019年度 葦クラブ研究部会[第6部会] 登録申込書

<フリガナ>

会社名

下記の通り登録申込みいたします。（昨年度登録申込みを頂いている場合、こちらの申込書送付は不要です。）

1	第1登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	() -
				FAX	() -
	E-mail				
	第2登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	() -
FAX				() -	
E-mail					
2	第1登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	() -
				FAX	() -
	E-mail				
	第2登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	() -
FAX				() -	
E-mail					

※ 本研究部会は、2名で1口の登録となります。

※ 年間登録費の請求書は第1登録者宛にご送付申し上げます。また、E-mailにて例会案内をお送りいたしますので必ずアドレスのご記入をお願いします。

なお、ご記入の第1・第2登録者の順にて名簿に掲載いたしますのでご了承願います。

<input type="checkbox"/> 請求書	要	申込み後の受取請求書にて振込み
<input type="checkbox"/> 請求書	不要	指定口座へ直接振込み
[振込み予定日をご記入下さい 月 日 ()]		
※上記いずれかに☑をおつけ下さい。		

(90,720円・128,520円) [消費税8%含む] × □ = 円

(事務局記入) 請求 / 202019

第1部会

生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

生産システム研究部会

リードタイムの短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

モノづくり人材育成研究部会

日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

モノづくり競争力研究部会

新たなモノづくりへのチャレンジ！ ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

生産現場改善研究部会

たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～知恵は無限、改善は永遠～

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

葦クラブ研究部会

挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。